吉祥寺パークエリア KICHIJOJI PARK AREA

第7号

きちぱ未来通信

開催報告

社会実験
「KICHIJOJI STREET PICNIC 2026」を開催しました！








今年もパークロードがピクニック会場に！

10月3日（土）、吉祥寺駅南口のパークロード周辺で社会実験「KICHIJOJI STREET PICNIC 2026」を開催しました。昨年度に引き続き2回目の取組みで、大勢の方にお越しいただきました。

この社会実験は、駅前広場の整備により、パークロード周辺が人中心の空間となることを想定して、一夜限りの歩行者天国とし、将来的な過ごし方を探る試みです。今回は歩行者動線と滞在空間のより適切な位置関係も探るため、滞留空間を「道路中央に配置するゾーン」と「路肩に配置するゾーン」に分けてピクニックマットやテーブル、イスなどを設置しました。当日は持参のレジャーシートを敷く人も多く、滞留空間が求められていることが分かりました。一方で、通行幅の確保や道路利活用のルールとの兼ね合いなど、来年度に向けた課題が明らかになりました。

会場には地元店舗の屋台が並んだほか、会場内を巡りながら音楽を届ける「流し」の演奏、動物とのふれあいやゲームなど様々な過ごし方を体験できる場としました。

来場者からは「昨年、子どもも楽しんでいたので、今年も楽しみにしていた。駅前に子どもと一緒に過ごせる場所ができたらうれしい」といった声、一方で「昨年の方がゆとりがあり雰囲気を楽しめた」「道が狭く通行しづらいシーンがあった」といった声が寄せられ、にぎわいと快適さのバランスについても課題が明らかになりました。沿道店舗や屋台出店者からは「このような取組みが続けられる駅前になってほしい」といった感想が寄せられました。

継続的な取組みを目指して

市と地元商店会などの共催として実施するこの社会実験は、令和9年度が最後です。来年度の社会実験では、今回明らかになった課題への対応に加え、地域主体による継続的な実施を見据えて、企画内容を見直していきます。

オープンハウスの様子をご紹介します！

社会実験と同日に、吉祥寺駅南北自由通路（はなこみち）でオープンハウスを開催しました。まちの模型や、シールを貼って回答するアンケート付きのパネルを展示し、市民や来街者の皆さんがイメージするパークエリアのまちの姿についてご意見を募集しました。アンケート結果の一部をご紹介します。





パネル型アンケートでは、「今ある街並みをベースにゆとりある道路空間をつくる」が最も多く、次いで「今の街並みを活かす」、「一定の高層化と一体的な更新・高度利用により、ゆとりある空間と新たな都市機能の導入を図る」、「高層化を図る」という順で回答が寄せられました。付箋のコメントや直接伺ったご意見を通して、街並みだけでなく、吉祥寺の価値をどのように高めていくべきかについても、関心の高さがうかがえました。

今回いただいたご意見は、吉祥寺パークエリアの将来像を検討するための大切な材料として活かしていきます。

お知らせ

commonで将来像づくりのためのご意見を募集します！

デジタルプラットフォームアプリ「common（コモン）」にて、オープンハウスと同様の意見募集を行っています。まちの未来の姿を想像し、意見を示す機会ですので、ぜひご意見をお寄せください！

二次元コードからcommonの
ダウンロード ⇨ アカウント登録 ⇨「吉祥寺」でエリア設定を！

投稿は 11/16 まで

MUSASHINO CITY
吉祥寺パークエリア KICHIJOJI PARK AREA きちぱ未来通信 第7号
武蔵野市 都市整備部 都市再生課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 ☎0422(60)1982
2026年10月30日発行